



実川たかし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

成田空港 新滑走路

地域住民へ丁寧な説明求め

6月県議会一般質問に登壇

山武郡選出で2期目の議会活動に専念する実川隆(じつかわ・たかし)県議は、昨年9月議会に続いて、閉会したばかりの6月県議会でも一般質問に登壇しました。実川県議はこの中で、山武地域にとって重大な関心事である成田空港の第3滑走路建設問題に関して「新滑走路の位置や騒音コンターの範囲を早期に地元住民に提示することは、事業者の責務だ」と強調し、国や空港会社が速やかに提示するよう、県に対し強く要望しました。

また、稲作農家の経営安定のためには、専用品種による飼料用米の生産拡大が欠かせないとし、飼料用米への取り組みを強く求めました。その他の地域の課題と合わせて、実川県議の質疑を特集しました。



再質問で騒音コンターの提示を求める実川県議

騒音コンターの早期提示を要望

実川議員 成田空港ではアジアを中心に世界的に空港間競争が激しくなる中、選ばれた空港を目指した整備を進め、昨年3月には、第3旅客ターミナルの完成により、施設面でも空港容量30万回化が完成しました。一方、羽田空港では国際線の発着枠の拡大により、大幅に国際線旅客数が増大し、また関西国際空港でも本年2月の外国人入国者数が、初めて成田空港を上回ったとの報道もあり、成田空港の国際空港としての地位低下が懸念されるどころです。

成田空港の利用拡大に向けて、県はどのように取り組むのか。

森田知事 空港会社では、時間当たりの処理能力の向

上や着陸料の減免等により、平成30年度までに27万回の発着回数を目指すこととしています。

県においても、引き続き成田空港活用協議会など関係機関と連携し、増大する訪日外国人客の取り込みや国内線就航先での成田空港のPRに努め、空港の利用拡大に向けて取り組んでまいります。

総合企画部長 本年度3月24日の四者協議会の中で、長期的な航空需要予測や滑走路の運用方法、機材構成など、騒音コンター作成の基礎となる前提条件が空港会社から示されたところです。現在は新たな滑走路の位置や飛行コースなどについて、空港会社で検討が進められています。新たな滑走路の具体的な位置や騒音コンターの提示については、空港周辺の市町からもその早急な提示が求められています。

今後の議論を深めるためにも、環境共生策などと合わせて、こうした地元の声に空港会社がかかりと応えていくべきだと県としても考えています。

実川議員 新滑走路の位置や騒音コンターの提示に

備え、想定される課題に対する準備を進めるべきと考えるかどうか。

総合企画部長 県では、関係部局で構成する成田空港活用推進本部「本部員会議」をすでに設置し、空港の機能強化の検討に当たっての情報の共有化や諸課題の整理を行ったところです。引き続き、四者協議会の議論の進捗に合わせて、県としてもこの会議等を活用して的確に対応できるように取り組んでまいります。

要望 成田空港の機能強化に向け、しっかりと議論が進められる必要があると思います。その前提には生活環境へ大きな影響を受け、また、落下物の危険にさらされている地域住民への丁寧な説明とその理解が必要とされます。

空港機能強化に伴い、自分たちに具体的にどのような影響があるのかを早く知りたいと思うのは、地元住

新たな課題へ準備を

実川議員 新しい滑走路の具体的な位置や騒音コンターの早期提示を空港会社に向けていくべきと思うかどうか。

総合企画部長 本年度3月24日の四者協議会の中で、長期的な航空需要予測や滑走路の運用方法、機材構成など、騒音コンター作成の基礎となる前提条件が空港会社から示されたところです。現在は新たな滑走路の位置や飛行コースなどについて、空港会社で検討が進められています。新たな滑走路の具体的な位置や騒音コンターの提示については、空港周辺の市町からもその早急な提示が求められています。

●山武郡や県政へのご意見、ご要望をお寄せください。

実川たかし 県事務所

〒289-1732 山武郡横芝光町横芝515 TEL.0479-82-2688 FAX.0479-82-2799

民にとって当然なことだと思えます。新たな滑走路の位置や騒音コンターの範囲など、住民が不安に思っている内容を環境対策の在り方とともに、地元で早期に提示することは事業者の責務であり、県としても、国や空港会社に強く働きかけていたたくよう要望します。

いま議論されている第3滑走路の建設は、新たに空港を造ることと同じくらい大変な事業だと思えます。森田知事におかれましては、空港問題を踏まえ、地元芝山町をはじめ千葉県のために強いリーダーシップを発揮していただきますようお願いいたします。

米価安定へ飼料用米拡大を

専用品種で取り組み



6月県議会の本会議場に登壇した実川県議

実川議員 平成27年産の生産者米価は、飼料用米への転換などによる需給バランスの改善により、26年産を上回る価格となりましたが、国内での主食用米の需要が年々減少していく中、米価の安定に向け、さらなる飼料用米の生産拡大の取り組みが必要だと考えています。

飼料用米は、コシヒカリなどの主食用米より、アキヒカリなどの飼料用米専用品種で取り組み方が、助成制度が充実していることから、主食用米品種による取り組みより有利になると聞いています。稲作農家の経営安定

よう、県内各地域に現地実証展示ほ場を設け、普及拡大を図っているところです。今後とも、稲作農家の経営安定が図れるよう、市町村等関係機関と一体となり、

栗山川の早期整備を

実川議員 県は現在、広域河川整備事業により栗山川の整備を進めているところですが、あまり進んでおらず、このペースでは整備がいつ完成するか分かりません。言うまでもなく、流域の治水上の安全を確保するためにも、整備のペースをさらに上げ、より一層推進させるべきです。栗山川の河川整備の進捗状況と今後の見通しはどうか。

農林水産部長 飼料用米専用品種は、収量が多く、助成金も多いことから、主食用米種を上回る収入が得られるため、専用品種の取り組み拡大は重要です。そのため、県では専用品種の種子供給体制を整備し、収量増加に向けた栽培マニュアルを作成するとともに、本年度からは新たに、稲作農家が安心して取り組める

栗山川は、河口から飯土井橋までの17.2キロ区間で、時間雨量50ミリの大雨に対応する河川整備を進めています。今後の成田空港の機能強化の議論を踏まえ、必要な予算について確保し、栗山川を早期に整備されたい。

圏央道周辺の土地利用

実川議員 国が毎年実施している「工場立地動向調査」によれば、圏央道の沿線地域では、新規の工場立地

飼料用米専用品種の生産拡大に取り組みでまいります。主食用米の過剰作付け全国ワースト1位という汚名を早期に返上するためにも、飼料用米の目標面積である7千ヘクタールの達成に向け、関係機関と一体となって、さらに働きかけを行っていくよう要望します。

地の面積の伸びが、全国平均の約3倍となっています。こうした工場立地の動向に乗り遅れることなく、千葉県内でも圏央道のインターチェンジ周辺の土地を有効に活用していかなければ、将来の発展はありません。そこで質問します。圏央道の松尾横芝インターチェンジ周辺の土地利用についてどのように考えているのか。

都市整備局長 県では、人口減少や圏央道の整備進展などに対応するため、昨年度から都市計画の見直しを進めており、これまで、山武郡市を含め44市町村について「都市計画区域マスタープラン」等の都市計画変更を行ってきたところです。

この中で、松尾横芝インターチェンジ周辺については、「広域農道ネットワークの整備効果を生かし、地域振興に資する業務機能等の計画的な誘導・集積を図る」としています。

県としては、今後こうした方針に基づき、地元市町の意向に沿った土地利用が図られるよう、地区計画などの都市計画制度の活用について、地元市町とともに取り組んでまいります。

また、町でも検討を始めたばかりですが、地元の町が受け皿の整備や企業誘致に取り組むに当たっては、ぜひこれまでの県の経験を生かし、今回は質問をさせていただきませんでした。商工労働部

にも、さまざまな面で支援していただくよう要望します。また、具体的な土地利用に当たっては、都市計画法をはじめ、関係法令の手続き

災害時の物資備蓄

実川議員 大規模災害時における備蓄について伺います。県内市町村の備蓄状況はどうか。

防災危機管理部長 県地域防災計画では、市町村は基礎的な地方公共団体として「義的に被災者への食料・生活必需品等の供給を行う責務を有し、物資の備蓄に努めることとされています。平成27年度末現在の県内市町村における備蓄の状況は、

○食料については、合計341万食相当で、各市町村が定めた目標量の約8割

○飲料水については、合計約97万7千リットルで、目標量の約5割

○毛布については、合計約42万9千枚で目標量の約8割

などとなっております。実川議員 災害に備えた物資の備蓄に関する県の考え方はどうか。

防災危機管理部長 県は、平成25年1月に「災害

が必要となりますので、そうした調整についても町に対し懇切丁寧に助言していただくなどの対応をお願いしたいと思えます。併せて要望します。

時の緊急物資等の備蓄に係る計画を策定し、市町村による備蓄を補うため、費用負担の大きい簡易トイレ、大型テント等の機材や、大量に必要となる食料、水、毛布等の備蓄を行っています。

これらの備蓄物資は、災害時における各地域への速やかな支援や、リスク分散などの観点から、民間倉庫を含めた県内13カ所に分けて保管しています。

☆お知らせ 実川隆議員の県議会での質疑の様子は、県議会のホームページから「議会中継(録画)」をクリックすれば、過去の質疑を含めてすべてご覧になれます。

地域の声を県政に届けて!



県議会の傍聴席を埋めた皆さん